

# 中学年提案

## 研究主題

「Let's try communication more!」～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

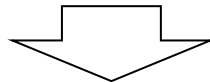
## 目指す児童像

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

☆4年研究授業 外国語 単元名『Unit5 Do you have a pen?』

## 4年生児童の実態

- 外国語の歌やチャンツを歌ったりすることは、全体的に楽しんでいる。
- 外国語に対する興味・関心に差があり、特に英語の音声の聞き取りに苦手意識をもっている児童が多い。そのため、聞き取れないと思った段階から、集中力が途切れ、諦めてしまう。



- 英語の歌やゲームなど、楽しんでできる活動内容を工夫していくことで、「英語が話せるようになりたい」という児童の思いを基にした授業づくりを行う。

## 「児童が主体的に取り組む」ための手立て

### (1) 身近な表現や言葉に慣れ親しむ

#### ○外国語に慣れ親しむための導入の工夫

毎時間英語の「歌」を取り入れる。また、身振り手振りを加えることで、心と身体のスイッチをオンにし、英語に対する緊張を和らげる効果があると考えた。

#### ○言葉や表現の掲示の工夫

日常的な会話のやり取りを教室内に掲示し、活動への意欲を高められるように工夫した。また、授業の活動の中で、児童が自信をもって取り組むことができるよう、活用させていく。

### (2) 他者意識をもたせる

#### ○Small Talkの工夫

英語の音声や表現に親しめるように、単元で使用する表現を用いて、週1回 Small Talk を取り入れている。その中で、児童に主体的に取り組ませる教師が Small Talk で話した内容から、どんな言葉が聞こえてきたのかについて、児童相互でやり取りをさせ、会話を広げる活動を取り入れた。

#### ○相手への応答の仕方の例示

英語でのやり取りを通して、応答したり、質問したりすることで、会話を更に繋げたり広げたりできるよう応答の仕方を例示し、意識づけに活用した。また、ALTとの会話を通して、更に応答することの良さを実感できるようにした。

#### ○必然性のある場面の設定

文房具屋さんとお客さんの会話のやり取りという、実際の場面を具体的にイメージできる状況を作り出すことで、児童の興味・関心を引きつけ、活動への意欲へと繋げていく。

## 本時のポイント

- ・買い物リストをもとに文房具屋でお買い物をする活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。